

## 第 3 回通常総会開催 16 年度事業計画決定

日本筆記具工業会は 5 月 13 日午後 5 時から、上野公園の精養軒で第 3 回通常総会を開催し、平成 15 年度事業報告と収支決算、並びに 16 年度事業計画と収支予算を承認しました。会場を移して開催した懇親会には、多数の来賓の出席を得て、情報交換と懇親を深めました。西村会長、小川副会長、数原副会長のスピーチは次の通りでした。

### 西村貞一会長（総会にて）

筆記具業界は厳しい環境下にあり、内外ともに減少しています。なんとか日本の筆記具業者が再生していく道を考えなければなりません。回復の芽のひとつは、各社が努力して新商品を開発することでありましょう。筆記具の新商品は、ぺんてるのサインペンから始まり、最近では、ゲルインキボールペン等いろいろあります。JWIMA としても、日本発の規格を世界に発信し、普及させていくことが必要だと自覚しています。日本発のゲルインキボールペンの ISO 規格を日本が中心になってつくっていききたいと思っています。プライドをもって新しい規格をつくり、それをテコに業界および各社の繁栄に結び付けたいと考えています。同席されている筆記具のトップ企業の動向をみましても、ターゲットをボリュームゾーンの少し上に置いた新製品を出されています。これがわれわれの生きる道であると考えています。価値の高い新製品を開発していくことがなにより大切だと思っています。



### 小川洋平副会長（総会にて）

ご承知の通り、我が国のステーションナリー・マーケットもグローバル化の波にもまれています。そうした意味で、マーケティングペン、シャープペン、鉛筆の輸入は増加傾向にありますが、ところがボールペンは減少を示しています。これはただ今、西村会長が示されたように、国内メーカーが付加価値の高い新製品を開発・提案した結果でございます。市場のグローバル化の中で、勝ち残る途はテンポの速い新製品開発の他にありません。ボールペンの成功に見るような事業活動を続けていきたいと考えています。

### 数原英一郎副会長（懇親会にて）

景気はやや明るくなってきたようです。この 10 年間に振り返りますと、私たちは自分の得意技を忘れていたように思うのです。

米国の企業は、株主の利益を最大にするためあらゆる手段を講じるキャピタルマーケットでの競争にしのぎを削っています。一方、製品では厳しい競争をしていません。

では、日本はどうかといえば、ひたすら品質レベルを高める競争を続けてきました。このところ毎日、紙面で取り沙汰されているように、日本の消費者は欠陥品に対して非常に厳しいものを持っています。そうした国民性を反映して、わが国のメーカーは株主よりユーザーの利益を優先させる競争をしてきたわけです。そうした日本メーカーの努力が、いまここに来て実り、確かな自信になってきたと思うのです。新製品開発力という国際優位をもって、業界をますます発展させていこうではありませんか。

**<委員会・部会報告>**

16年4月から7月までの本工業会委員会及び部会の活動を報告します。

**総務委員会(委員長：今井正芳副会長)**

4/14 開催

第3回総会(5/13)に向けた打ち合わせ。

(株)パイロットコーポレーションの役員人事に伴い中村彰氏に替わり、今井正芳取締役が総務委員会担当副会長(委員長)に就任した。また、(株)日本万年筆製造所の岡本信一社長が総務委員会委員に就任した。

6/17 開催

(有)丸伸金属製作所(福山伸一社長)が本工業会に加入した。尚、正式には次期理事会にて承認する。

16年度優良工場見学会について審議した。10月開催に向けて詰めの作業に入った。

一般会員向け研修会の企画について審議した。今回のテーマは、中国模倣品実態とその対応について、エコマークについて、CEマークについて。

16年度の第3回理事会開催の概要を決定した。開催日時は16年10月6日(水)午後3時～5時、会場は(株)サクラクレパス大阪本社会議室にて。

ゴルフ懇親会について。「第1回 JWIMA ゴルフコンペ」は、9月18日(土)に開催することとなり、ゴルフ場は千葉県野田市「紫カントリークラブ・すみれコース」で決定した。

**流通委員会(委員長：堀江圭馬副会長)**

<お客様相談窓口連絡会>(神田勇部会長報告)

5/21 開催

お客様対応ガイドラインについて、お客様相談対応情報交換を行った。

<流通小委員会>(平戸政照部会長)

5/21、7/21 開催

消費税の総額表示問題に関する流通小委員会を実施した。

**技術委員会(委員長：数原英一郎副会長)**

<ボールペン JIS/ISO 部会>(西本洋二部会長)

「JIS S 6061:2004 ゲルインキボールペン及びレフィル」制定原案が完成し、(財)日本規格協会から経済産業省に提出された。本年9月頃に日本工業標準調査会・標準部会・消費生活技術専門委員会で審議され、平成17年1月制定・公示され

る見込み。

この JIS S 6061 をベースにして ISO へ国際規格提案を進めていくが、その関連として経済産業省の「国際規格適正化事業」に応募・申請し採用され同事業がスタートした。このために原案の英訳版を作成した(校正中)。また、ISO 提案をスムーズに進めていくために「TC10 国内合同対策委員会」(6/8 第1回開催)に委員として参画した。

【JIS 改正】6/3、7/5 開催

「JIS S 6039:2000 ボールペン及び中しん」及び「JIS S 6054:2000 水性ボールペン及び中しん」の改正原案作成委員会が設けられ、分科会審議がスタートした。「JIS S 6061 ゲルインキボールペン及びレフィル」との整合性を考慮し、インキの定義について審議を重ねている。

<マーキングペン JIS/ISO 部会>(長島功典部会長)

【JIS 改正】5/2、6/23 開催

「JIS S 6037:2000 マーキングペン」の改正原案作成委員会が設けられ、分科会審議がスタートした。事前に全体の見直しを行っていたので、特に筆記性能、耐光性等を中心に見直しを行っている。マーキングペンに占める割合の多いラインマーカーを規格に盛り込む方向で合意した。

<全文協・日本筆記具工業会 合同知的財産部会> 5/20 開催

15年度の知的財産部会の活動を報告した年間報告書「海外模倣品対応について」が提出され、部会はこれを承認した。本報告書は本工業会・全文協両団体会員(約160社)、関係省庁(経済産業省、特許庁、財務省、東京税関)、関係機関(日本貿易振興機構、同北京、上海センター)・団体(生活用品振興センター、時計協会、玩具協会、知的財産保護フォーラム事務局(発明協会、知財協)等に配布する。

16年度の知的財産部会活動計画(案)を審議した。基本的には、模倣品対応ワーキンググループ(WG)による活動を継続し、15年度にまとめられなかったことについても検討課題として継続することを確認した。

「ISOT2004」にて開催する模倣品対策・活動について。「模倣品対策セミナー」「真正品・模倣品比較展示コーナー」「模倣品実態調査」「三極非公式会議」以上の実行計画を確認した。

国際知的財産保護フォーラム・プロジェクトへの参加について審議した。

## ISOT で模倣品対策を実施しました



本工業会  
と社団法人  
全日本文具協会  
の「合同  
知的財産  
部会」(全  
文協担当

副会長・小川洋平)は、7月1日から実施されたISOTにて模倣品対策活動を実施、とくに東アジア地域の製造業者に知的財産権を重んずる企業倫理と、綱紀肅正を求めました。

【模倣品実態調査】1日11時～12時30分  
合同知的財産部会約20名、弁理士・水野清氏、  
範立岩氏(中国)は、ISOT展示会場にて東アジア  
地域ブースを中心に会場内をパトロールし、模  
倣品の展示とカタログ掲載を摘発しました。

【模倣品対策セミナー】2日14時～17時  
受講者約80名を集めて、次の通りのセミナー  
を実施しました。

特許庁総務部国際課地域政策室第一係長  
西田拓也氏、テーマ「我が国特許庁における模  
倣品対策活動の現状」

財務省東京税関業務部知的財産調査官 三  
島憲二郎氏、テーマ「知的財産権侵害物品の輸  
入差止状況」

警察庁生活安全局生活環境課課長補佐警視  
辻崎俊徳氏、テーマ「日本における知的財産権  
侵害事犯の取締の現状について」

日本貿易振興機構JETRO上海センター知的  
財産部部長 水田賢治氏、テーマ「中国におけ  
る模倣侵害品対策の現状と今後について/具  
体的事例の紹介」

【真正品・模倣侵害品比較展示コーナー】  
特許庁等から提供されたパネル10数枚を展示、  
また、真正品と模倣品の現物を陳列し、模倣侵  
害品による被害の実態を紹介しました。

【模倣防止相談コーナーの設置】1日・2日  
相談員に弁理士・水野清氏、範立岩氏(中国)を  
迎え、メーカー、流通業者等からの模倣品対策  
に関する個別相談に応じました。

## お知らせ

### 会員研修会にご参加ください

分野別のスペシャリストの知識を会員各位が  
共有していただく機会を設け、筆記具工業会全  
体の発展向上を目的に研修会(情報交換会)を開  
催することにしました。

テーマ 中国模倣品の実態とその対応  
エコマークについて  
CEマークについて  
交流懇親会

開催日時 16年9月16日(木) 13時から  
開催場所 東京文具工業健保会館5Fホール  
参加者定員 約50名

参加費無料 (懇親会希望者2千円)

**予約受付中** 詳しくはJWIMAホームページ  
をご覧ください。

### ゴルフコンペにご参加ください

「第1回JWIMAゴルフコンペ」を9月18日  
(土)に開催することになりました。ゴルフ場は  
千葉県野田市「紫カントリークラブ・すみれコ  
ース」です。

**予約受付中** 詳しくはJWIMAホームページ  
をご覧ください。

### 工場見学会にご参加ください

「(株)ファンケル千葉工場他1日見学コース」

実施日時 16年10月14日(木)  
日暮里駅集合8時30分、同地解散  
17時30分(予定)

参加者 定員40名  
参加費 1万円(昼食代含む)

### 近日案内

万年筆・シャープペンシル・ペン先の製造業、  
マーキングペンの製造業に適用されている中  
小企業信用保険法第2条第3項第5号に係る「特  
定業種」の指定が改めて本年9月末日まで延長  
されました。「特定業種」に指定されますと、  
金融機関から借入をする際に信用保証協会の  
「特例保証」を受けられます。特例保証を含む  
保険限度額は、普通保険4億円、無担保保険1  
億6千万円、特別小口保険2,500万円です。(お  
問い合わせは事務局まで)

本年を締めくくる「JWIMA講演会・懇親会」  
は12月7日(火)、上野精養軒にて開催が決  
定しました。恒例の講演会のゲストは現在調  
整中です。追ってご連絡いたします。会員各  
位のご参加をお待ちしています。

## 2004年1～3月の出荷・輸入・輸出

(金額はすべて百万円)

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

出 荷	単位	2004年1-3月度		2003年1-3月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	117,543	8,002	113,407	7,379	3.6%	8.4%
ボールペン(水性)	千本	192,980	8,335	203,805	9,235	-5.3%	-9.7%
マーキングペン	千本	188,666	9,959	178,485	9,335	5.7%	6.7%
シャープペンシル	千本	62,623	4,742	69,214	4,825	-9.5%	-1.7%
黒しん鉛筆	gross	634,753	1,826	623,883	1,870	1.7%	-2.4%
色しん鉛筆	gross	229,980	879	244,347	961	-5.9%	-8.5%
シャープしん	千本	997,317	1,750	854,024	1,565	16.8%	11.8%
修正液	千本	12,103	1,107	11,889	1,181	1.8%	-6.3%
修正テープ	千個	23,567	2,094	22,230	2,285	6.0%	-8.4%
クレヨン・パス	千本	46,810	697	43,348	694	8.0%	0.4%
水彩絵の具	千本	17,882	743	19,490	805	-8.3%	-7.7%
合計金額			40,134		40,136		0.0%

日本貿易統計

輸 出	単位	2004年1-3月度		2003年1-3月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	52,124	1,913	61,642	2,336	-15.4%	-18.1%
ボールペン(水性)	千本	151,295	6,315	151,919	6,737	-0.4%	-6.3%
マーキングペン	千本	71,050	3,071	73,178	3,009	-2.9%	2.1%
シャープペンシル	千本	39,349	1,713	38,547	1,733	2.1%	-1.2%
万年筆	千本	1,177	170	1,351	206	-12.9%	-17.2%
製図用ペン	本	480	0	30,000	1	-98.4%	-74.3%
以上のセット品	千本	42	8	263	38	-84.2%	-79.3%
黒しん鉛筆	gross	35,082	73	28,972	61	21.1%	20.1%
色しん鉛筆	gross	8,302	23	29,381	36	-71.7%	-36.7%
ボールペン用中芯	千本	55,899	720	50,372	755	11.0%	-4.5%
マキグペン用ペン先・コブポイント	千本	926,356	1,643	923,451	1,616	0.3%	1.7%
シャープ部品・付属品	Kg	44,649	223	34,962	173	27.7%	29.4%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	426,204	1,104	366,313	1,086	16.3%	1.6%
シャープしん(鉛筆しん含む)	Kg	118,928	589	79,815	471	49.0%	25.0%
クレヨン・パス	Kg	45,273	100	46,690	80	-3.0%	25.2%
合計金額			17,665		18,337		-3.7%

日本貿易統計

輸 入	単位	2004年1-3月度		2003年1-3月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	60,543	1,677	51,604	1,636	17.3%	2.5%
マーキングペン	千本	49,433	809	69,264	781	-28.6%	3.6%
シャープペンシル	千本	12,828	318	8,058	273	59.2%	16.5%
万年筆	千本	174	246	469	291	-63.0%	-15.3%
製図用ペン	本	6,140	4	5,725	10	7.2%	-58.7%
セット品	千本	435	31	390	32	11.4%	-2.7%
黒しん鉛筆	Kg	156,336	111	133,310	121	17.3%	-8.4%
色しん鉛筆	Kg	325,111	236	324,823	242	0.1%	-2.5%
ボールペン用中しん	千本	11,556	91	12,528	110	-7.8%	-16.7%
ペン先及びコブポイント	千本	35,608	105	20,575	51	73.1%	106.6%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	213,836	425	177,595	339	20.4%	25.4%
ペン軸、その他の部分品	Kg	42,023	66	30,199	63	39.2%	4.0%
しん	Kg	85,316	108	74,401	115	14.7%	-6.1%
パステル・チョーク	Kg	337,349	174	324,684	163	3.9%	6.8%